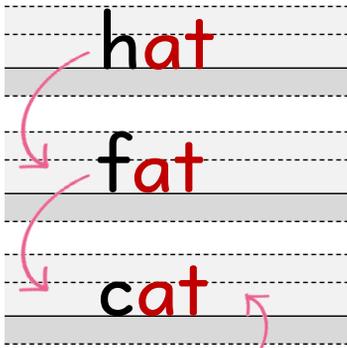


英単語15×8

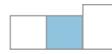
a は cat の「エア」、o はあごをひいて「ア」に近く、i は「エ」というときの口の形で「イ」。
u / e は日本語の「ア」、「エ」で十分に通じます。



(ふちのある)
帽子(ぼうし)



太った



ネコ

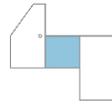
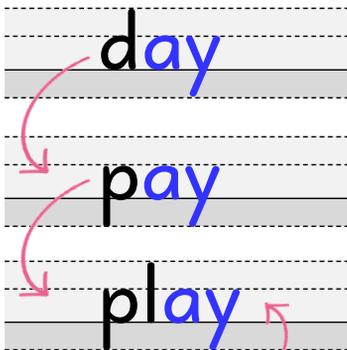
① 発音のポイントをチェックしたら

h + at など、「音の足し算」をしながら読んでみましょう。下のQRコードからは音声もダウンロードできます。

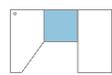


② 前の単語とのちがいをたしかめながら、ゆっくり読む

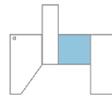
③ 左の単語をかくして、文字わくと意味だけを見ながら言う



日、昼間



支払(しはら)う、
(注意など)を払う



…をする、演奏(えん
そう)する、遊ぶ

④ 一音一音ゆっくり発音しながら、まずは指で書いてみる

⑤ 文字わくと意味だけを見ながら、文字の大きさや書く場所に気をつけて書く

文字わくは「目で見て覚える力」を高めて、**play** を ***prai** とするようなまちがいを少なくします。



急いで乱ぼうに書くよりは、少ない回数でも、文字の間かくや大きさ、書く場所などに気をつけて、ていねいに書こう。



- 英単語は「音の足し算」で、できています。これに慣れれば、**tea - team**:チーム - **steam**:蒸気 - **stream**:小川など、ここで取り上げていない単語まで、ほんの少しの練習で読み書きできるようになります。
- ここでの **ea** は「イー」のように発音しますが、**bread**:パン では「エ」などと読むこともあります。基本をきちんと押さえることで、例外にも強くなれます。
- 文字わくは、文字の高さや幅、位置などへの気づきを促し、視覚記憶をより確かなものとしします。
- アルファベットには特に決まった書き順はありませんが、**b / d / p / q** の文字わくには書き始めの点を示しています。角をけずって方向性をもたせることとあわせて、形が似た文字の混同を防ぎます。

